

25春闘 南部地区共同行動ニュース

国民春闘南部地区共同行動

物価高騰を上回る大幅賃上げを勝ち取り、暮らしを守ろう！

大田区労働組合協議会 大田区労働組合総連合 品川地区労働組合協議会 港区労働組合総連合 目黒区労働組合総連合 目黒地区労働組合協議会 JMITU東京・南部地区協議会

南部地区で活動している7団体で構成する南部地区共同行動のなかまは、25春闘を元気にたたかっています。

<南部地区共同行動実施！>

3月13日（木）17：30から大井町駅阪急前にて「物価高騰を上回る大幅賃上げを勝ち取り、暮らしを守ろう！」をメインスローガンに、品川、大田、目黒、港の区労連、労協、JMITU 南部の約40名のなかまが集い、25国民春闘南部地区共同行動を実施しました。

マイクを握った仲間は、『マスコミで「満額回答」と報道されるのは内部留保を溜めに溜め込んでいる大手企業の名前ばかり。中小企業の賃上げはこれから。大幅賃上げを実現することが多数の労働者の生活はもちろんのこと、日本経済にとっても極めて重要。

ケア労働者は、精神的にも肉体的にも重労働かつ低待遇を押し付けられてきた。看護師、介護師のなかまが仕事を辞めるケースが増大している。ベッドは整

っていても看護・介護する労働者が不足し、患者を受け入れられない病院や老人ホームが増え、訪問看護・介護を廃業する施設が増大している。これは私たちの健康や命、老後の暮らしに直結している医療、福祉の崩壊。ケア労働者の適正な処遇実現と、この危機を回避する為に大幅賃上げを実現しよう。』と呼びかけました。

また『生活することが出来ない日本の最低賃金の水準を大幅に引き上げ、直ちに全国一律時給1500円の最賃を実現しよう。異常な物価高騰が続き、エンゲル係数（※消費支出に占める食費の割合）が28.3%と43年ぶりの

高水準になっている。一生懸命働いても実質賃金が目減りして以前の生活ができなくなるのでは働く者のモチベーションが下がるのは当たり前。日本の経済を元気にするためにも大幅賃上げを高く掲げてたたかうことが求められる春闘。まじめに働くすべてのなかまに賃上げを実現する為に共に頑張ろう。』と力強く訴えました。用意したティッシュペーパー約1200個を配布、締め「団結がんばろう」とシュプレヒコールを行い、19時に行動を終了しました。※衣服や家財は、買い替えを我慢することは可能だが、食事は控えることができない。エンゲル係数が高くなるほど貧困化が進んでいることを示す。



<JMITU 宇野沢組鉄工所支部で24年ぶりのベースアップ実現！>

JMITU宇野沢組鉄工所支部は、正社員1万円（定昇を加えると約1万5千円の賃上げ）、定年再雇用社員6500円のベア回答を引き出しました。実に24年ぶりのベア回答で、職場の多くのなかまにとって初めての経験となりました。

会社は22年間、製造部門の赤字を理由に「ベースアップは出来ない」と定昇のみに固執。一昨年からは黒字化したにもかかわらず「製造部門の過去7年間の累積赤字約17億円を解消するまでベースアップの検討はしない」とこれまでの姿勢をひるがえしました。



支部は24春闘で妥結せずアンケート・一言メッセージの取り組み、春闘団交拒否の不当労働行為糾弾、ポスター掲示、ストライキ決行など運動を続けてきました。25春闘に入り、職場のなかまの要求を可視化しようとシール投票を実施、96名の職場のなかまの思いを集め会社にぶつけるたたかいを実施し、ついに引き出した成果です。

<大田春闘共闘が春闘交流会を開催>



3月18日(水)、大田春闘共闘は春闘交流会を開催。リモート参加を含め9労組から17人が参加。嶋岡春闘共闘事務局次長が回答状況や情勢の報告を行い、その後、各労組代表者が回答内容や取り組み状況を報告しました。

医労連職場: 回答は定昇のみのベアゼロ。職場では昨年5分の時間延長と昨年末の一時金が20万円も下げられ、若手の退職者が続出。63名が職場を離れ元気がなくなっている。組合は、新春のつどいやバスハイクを実施。4月には歓迎会を予定している。頑張っていきたい。

大田区職労: 222名が採用されるが人手不足は深刻。保育園も募集の半分しか入らない。ストレスチェックでハイストレス者も高く、早期退職者も出ている。公務員は11月に賃上げだが民間の春闘を応援してがんばっていきたい。昨年の賃上げは1万1千円。若手は2万円だったが中高齢は2千円から4千円、不満が出ていた。物価高騰に対して平等に賃上げするよう求めていきたい。

JMITU: 宇野沢組鉄工所支部がシール投票で職場の思いを可視化し、赤字解消までベースアップをしないという会社の方針を変えさせ、24年ぶりに1万円のベースアップを勝ち取った。

日本航空ユニオン: 1万円5.1%の回答と整備では手当の増額を勝ち取った。

荏原合同労組: 1万5千円の回答を引き出し、時間短縮についても協議している。

仲良し保育園: 10000円要求、パート時給1500円増要求、人員増と健康休暇を要求している。

最後に岡安代表幹事が、「25春闘で互いに支援しあいながら頑張りましょう」とエールを送り、春闘交流会を締めくくりました。

<明日、JMITU大田地域支部桂川精螺分会が、ストライキを決行します>

明日3月21日(金)16:30から、JMITU大田地域支部桂川精螺分会で、会社の回答延期に抗して、時限ストライキが決行されます。桂川精螺製作所の経営者は、産業構造が変化の中で新たな顧客や現業を超えた分野での商品開発に挑戦することが必須の状況であるにもかかわらず労務政策に偏向し、雇用責任の自覚無く、長年にわたり世間水準とかけ離れた低賃金を押し付けてきました。この異常な物価高騰が続く2020年以降も毎年2千数百円の賃上げに留め、労働者の生活をかえりみない冷たい姿勢を続けています。

多くのなかまにストライキに駆けつけ力強い支援を寄せて頂くことを呼びかけます。

3月6日(木)リレースト桂川精螺製作所前での行動



<2025年国民春闘南部地区共同行動 構成団体/事務局連絡先> ※ アイウエオ順
大田区労働組合協議会 大田区労働組合総連合 品川地区労働組合協議会
港区労働組合総連合 目黒区労働組合総連合 目黒地区労働組合協議会
JMITU東京地方本部南部地区協議会 (事務局 Tel: 03-3490-2974 JMITU アイ・エス・ピー支部内)